

# 前 NATO 議長ラスムッセン：アメリカが世界の警察であるべきだ

【訳者注】これは RT の記事だが、この注目すべきラスムッセン論文の全文を、Information Clearing House も載せている——ただし、「プロパガンダ、反吐ご用心」と最初に断っている (<http://www.informationclearinghouse.info/article45526.htm>)。両方とも読者のコメントは、呆れと軽蔑と罵倒が大部分で、見たところ例外はなかった。私がこれを取り上げたのは、これが、現在のワシントンのレトリックや、一般の親米反露論調の典型だからである。特に、道徳に訴えるところに注目すべきである。サマンサ・パワーの「恥ずかしくないの？」という、あきれ返った逆襲とパターンが同じで、道徳的に腐った者が道徳を持ち出す。事実と逆のレトリック。これは「アメリカ例外主義」から見れば、百点満点の答案である。

これを出したウォールストリート・ジャーナルは、どういう気持ちなのだろうか？ これを読む読者はどう反応するのか？ アメリカの新聞読者が、いかにお人好しだといっても、“愛国者”だといっても、ワシントンの偽善や宣伝はもう見抜いているだろう。読者に愛想をつかれても国家に媚びるのが得策なのか？ 採算上どうなのか私は知らない。

RT (Russia Today)  
September 21, 2016



Anders Fogh Rasmussen  
元デンマーク首相、  
前 NATO 議長

前 NATO 議長アナス・フォー・ラスムッセンは、アメリカに対し、世界の警察として振舞い、「プーチン大統領のような独裁者に対抗する」ように呼びかけた。彼はこのコメントをウォールストリート・ジャーナルの論説欄に発表した。

彼の見解では、アメリカだけが「警察官として秩序を回復し、紛争の炎を消す消防士、再建をリードする、聡明で分別ある一種の市長」としての「信頼性」をもっている。

強いアメリカを望む彼の中心にあるのは、プーチン大統領は許せないという信念であり、彼はプーチンを「独裁者」と呼び、「ロシアは、失われたソビエト連邦帝国を再建することに取りつかれている」と言っている。

「自由と繁栄が抑圧の力と戦って勝利するためには、世界はこのような警察官を必要としており、その地位の有能で、信頼され、好ましい、唯一の候補者はアメリカである」と前 NATO 議長は、彼の論文で述べた。

彼がアメリカを賛美する理由は、アメリカが「国際的なルールに基づく秩序のリーダーであり、それは第二次大戦後に創られたもので、前例のない、平和と進歩と繁栄の一時期を、世界にもたらした」からである。

**関連記事：「アナス・フォー・ラスムッセンのもう一つの真実」**

<https://www.rt.com/op-edge/356853-alternate-reality-anders-fogh-rasmussen/>

ラスムッセンが全く考えていないのは、新しい千年紀の始まりから、アメリカが、アフガニスタン、イラク、リビア、それにパキスタンの民族的な地域の戦闘で大災害をもたしたこと、また、イスラム国（IS、ISIS/ISIL）に対する戦いにも失敗していることである。

20 世紀のワシントンの記録もあまり変わらず、ベトナム、朝鮮半島、前ユーゴスラビアでの戦闘において、大規模な苦しみを地方の人民にもたらした。

2015 年には、ワシントン DC を本拠とする「社会的責任を問う医師の会」による画期的な研究が、9・11 攻撃以来の“テロへの戦い”による 10 年間の死者数は、少なくとも 130 万で、200 万になる可能性があるという結論を出した。

<http://www.psr.org/assets/pdfs/body-count.pdf>

この恐ろしい統計にもかかわらず、ラスムッセンは、アメリカは世界的に平和を求めていると、ウォールストリート・ジャーナルに書いた。

「アメリカのみが、混沌への滑落を食い止める、物的な偉大さをもつように、アメリカのみが、そうするだけの道徳的偉大さをもっている——権力のためでなく平和のために。」(強調)

訳者)

11月の米大統領選挙の候補者を公然と支持してはいないが、ラスマッセンは、ロシアを非難しながら東欧の NATO 同盟を支持し続ける必要を説く、ヒラリー・クリントンの勝利を見込んでいるようだ。

[http://twitter.com/RT\\_com/status/736378107209363457/photo/1](http://twitter.com/RT_com/status/736378107209363457/photo/1)

(RT: ポロシェンコが、前 NATO チーフのラスマッセンを、閣外アドバイザーに指名)

「ロシアがますます攻撃的になり、あらゆる種類の脅迫的な動きをバルト諸国に対して取るようになれば、…それは我々の利益にならない。もし NATO 軍が最前線にいて、彼らの動きを封ずることによって、ロシアの侵略を阻止しなければ、どれくらいの犠牲が生ずるか考えてみるべきだ」と、4月に (ヒラリー) クリントンは言った。

「アメリカが、兵力を削減したり退却したりしたときには——アメリカの自制は、紛争を防止し、解決する意欲がないことの反映だと、世界が考えただけでも——それは真空状態をつくり出し、狂った独裁者どもが世界にあふれることになる」と、ラスマッセンは書いた。

<https://twitter.com/AndersFoghR>

(ラスマッセン: EU は、ロシア制裁を 6 か月でなく、12 か月ごとの見直しに延長すべきだ。ウクライナを支援し、決意のメッセージをロシアに送ろう)

かつてデンマークの首相だった、この前 NATO チーフは、現在の米大統領バラク・オバマが、プーチン大統領を倒して「世界をリードするのに弱腰だ」として批判する態度を、引っ込めなかった。

「ヨーロッパとアメリカが眠っている間に、[プーチンは] シリアのアサド政権を支持して、冷酷な軍事作戦を開始し、ロシアを、アメリカよりも重要なグローバル強国として、押し上げようとしているのだ」と彼は言っている。